

湖山池でヒシ除去作業 初導入の専用機械が威力

2010年09月10日

鳥取県は9日、鳥取市の湖山池で大繁殖しているヒシの除去作業を始めた。腐敗して水質悪化の原因となるヒシは近年、繁殖面積が急速に拡大。今回は専用機械を初めて導入して行う作業で、広範囲のヒシを短時間で除去できると期待されている。



繁殖したヒシを刈り取る水草除去用の専用機械＝9日、鳥取市の湖山池

ヒシは池沼に生育する水草で、2004年ごろから湖山池で徐々に増え始め、近年は池の約8%を占める60ヘクタールまで拡大。秋になると枯れて底に沈殿したり、岸に打ち寄せられて池の水質悪化や腐敗臭の原因となって、近隣の住民や漁業関係者を悩ませている。

県は本年度、作業効率化のため例年作業委託してきた地元の湖山池漁協に加え、水草除去用の専用機械を所有するジャパンレイクアンドキャナル(本社・岐阜県)にも作業を委託。湖山池浄化対策予算として確保した予算のうち、3050万円をヒシの除去作業に充てた。

この日は水草除去用の専用機械に作業員が乗って操作しながら、前方に取り付けられたカッター部分で、水面から深さ1・5メートルまでの葉や茎、実を切り取って回収。瞬間に水面が姿を現した。専用機械では1日に40アール分を除去できるという。

7月下旬から、湖山池漁協が2隻の漁船間につないだチェーンでヒシを刈り取る除去作業も開始しており、県では二つの方法を使い、月末までに計20ヘクタール、約400トン除去するとしている。

湖山池は近年、富栄養化が顕著になり、毎年のようにアオコやヒシが大繁殖して水質が悪化しており、漁業にも大きな影響を及ぼし始めている。